



明和地所株式会社

MEIWA 明和地所

新築マンションブランド「クリオ」の分譲事業、不動産の購入・売却をサポートする不動産売買仲介事業等を展開。木育ワークショップでは、企業と参加者だけではなく、参加者同士のつながりも生まれています。



問合せ先 <https://www.meiwajisyo.co.jp/corp/>
TEL.03-5489-2888



木育
ワークショップ

スギカンナの フレッシュアレンジメント

2019年2月、最初に実施したワークショップ。大人の女性が多く参加され、普段は捨ててしまうカンナくずがきれいなアレンジメントに生まれ変わり、皆さんたいへん驚かれていました。会場には木の心地よい香りが漂い、非常にリラックスした皆さんの表情が印象的でした。



木育
ワークショップ

SAPPORO COLORの ブロックカレンダーを作ろう！

土台は札幌軟石、ブロックは天然の道産の木を使って万年カレンダーを作りました。参加者はテレビ塔や大通公園のベンチなどにも使われている「札幌景観色」の中から、自分の好きな色を選んで塗りました。札幌軟石や道産の木を使い、札幌らしい色名がついた札幌景観色を塗って仕上げ、自分の住んでいるエリアに因んだオリジナルなものを作れたということで、参加されたお客さまからとても好評をいただきました。



木育を始めたきっかけ

2016年に北海道と包括連携協定を締結し、北海道の活性化に向けて相互に連携・協力しながら協働事業に取り組んでいます。その一環として、道庁のご担当者様から「木育」をご紹介いただいたのがきっかけです。クリオマンションという「住まい」を分譲している中で、「木」は欠かせないアイテムです。住まいと木とがより身近になるような取組として、モデルルーム「クリオライフスタイルサロン」を会場とした木育のワークショップを開催し、さまざまなライフスタイルをご提案できればと考えています。

明和地所株式会社
社長室 ブランド戦略担当
込山 夕紀乃さん



❖ 北海道との取組は他にも？

「DISCOVER HOKKAIDO」というホームページを立ち上げ、北海道の食や観光、ライフスタイルなどを発信しています。Instagramも連動しており「#みんなの北海道」で色々な文化や食べ物などの情報を皆さんから投稿していただき、広めていただく活動も行っています。



「木のまち旭川エリア未来づくり感響プロジェクト」は企業版ふるさと納税で、林業や家具産業などの、次世代のリーダーを育てていこうという取組です。他にも現場見学会で学生さんに建築現場を実際に見ていただくことで住まいづくりの過程を知っていただくなど、育成の面での貢献にも携わっています。



企業と木育

モデルルームのスペースに限りがあるため1回の定員は多くありませんが、ワークショップは午前の部、午後の部とも、いつも満席になっています。毎回参加の常連様もいて、お客さま同士の交流も生まれているようです。参加者の募集は既存マンションの入居者への案内とイベント集客サイトやSNSを利用していますが、マンションをご購入いただいたお客さまだけでなく、全く当社を知らない

方も参加されています。ワークショップをきっかけにモデルルームに足を運んでいただき、「住まい」に興味を持っていたり、「木育」を知っていただくことに繋がればと思っています。いつもの暮らしにちょっとした「木育」を取り入れて、心穏やかな住空間をご提案できれば、私たちも「住まい」に携わるものとして嬉しく思います。

住まいは一生ものという方が多いので、

なかなか次を買うとか買い替えるということがありません。買っていただいた以降のコミュニケーションや接点が少ないと感じていましたが、こうしたワークショップを通して、営業担当者と会って「お久しぶりです」なんて声をかけていただいたりすると大変嬉しいです。買ったから終わり、売ったら終わりではなく、その先につながる新しい交流の場として続けていきたいと思っています。



木育ワークショップ

イチイのウッドランプ

道産のイチイを使ったワークショップですが、ずっとコロナの影響で延期されていました。コロナ禍が続いていたこともあり、オンラインでやっと2年越しの開催が実現しました。使用するイチイは天然ものなので大きさや形がさまざま、それぞれ個性的で面白いものができます。また、エジソン電球を使うことで、暖かみのある色味のアイテムになればいいと考えました。

木育マスター
小西 康裕さん



木育ワークショップ

葉っぱのお弁当箱 -フレキシブルパズル-

パズルのピースは札幌にある木の葉っぱの形をしていて、裏側にはその木の名前が彫られています。どんな木があるのか、どんな形の葉っぱがあるのかを勉強しながら、自分の好きな色に塗っていきました。そのあと、ピースを木枠のお弁当箱に詰めていくのですが、ピースの納まり方がそれぞれ違うので、なかなかきっちり納まりません。最後のひとりができ上がるまで全員帰らずに待っていてくださり、完成した時には拍手喝采で、コミュニケーションのとれたとても盛り上がったワークショップでした。



今回初めて、オンラインで木育ワークショップを実施しました。当社は首都圏・神奈川・名古屋や福岡にも支店があるので、今後もオンラインを活用してワークショップを展開し、「北海道の木育」を広めていく普及活動に少しでもお役に立てればと考えています。

